

埼玉県内企業の 2019 年度上半期および通期業績見通し調査

調査企業：県内企業 552 社

調査方法：アンケート方式 (2019 年 8 月下旬 郵送回収)

回答企業：207 社 (回答率 37.5%) 業種別内訳：製造業 115 社 非製造業 92 社

(注) 回答企業は 207 社であるが、設問ごとに回答数が異なっている。

要旨

埼玉県内企業の 2019 年度業績見通しを全産業で見ると、売上高については、上半期・通期ともに、「増収」とする企業が、「減収」とする企業を上回った (上半期 3 割・通期 8 割)。また、経常利益については、上半期・通期ともに、「増益」とする企業が、「減益」とする企業を下回った (上半期 5 割・通期 4 割)。昨年と比較すると、売上高では、上半期 ▲17 割・通期 ▲16 割、また経常利益では、上半期 ▲10 割・通期 ▲14 割と、いずれも悪化した。

業種別にみると、製造業と非製造業との間で、大きな違いが浮き彫りになった。

製造業では、売上高については、上半期は「増収」が「減収」を ▲5 割下回り、通期は「増収」が「減収」を 3 割上回った。経常利益については、上半期・通期ともに「増益」が「減益」を下回った (上半期 ▲15 割・通期 ▲11 割)。昨年と比較すると、売上高では、上半期 ▲28 割・通期 ▲27 割、経常利益では、上半期 ▲23 割・通期 ▲24 割と、いずれも大幅に悪化する結果となった。

一方、非製造業では、上半期、通期とも「増収」が「減収」を、「増益」が「減益」をそれぞれ上回った (売上高：上半期 16 割・通期 13 割、経常利益：上半期 8 割・通期 4 割)。昨年と比較して、引き続き「増収」、「増益」の基調が維持されている結果となった。

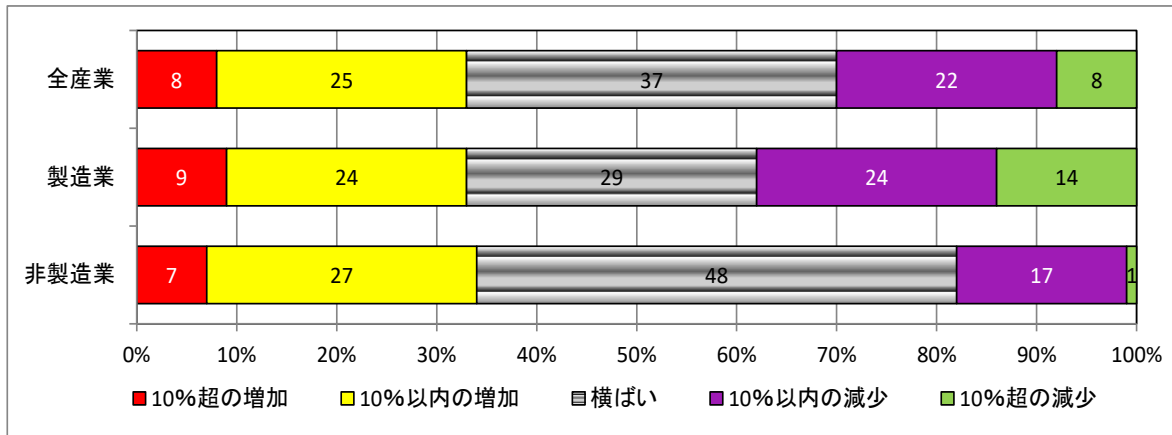
1. 2019 年度上半期売上高の見込み ((注) 有効回答数 196)

2019 年度上半期売上高の見込みについてたずねたところ、全産業で「10%超の増加」と大幅な増収を見込む企業は、8%で 1 割を下回った。これに「10%以内の増加」の企業 25%を加えた「増収」とする企業は 33%となった。

一方、「10%超の減少」と「10%以内の減少」を合計した「減収」とする企業は、全産業で 30%となっており、「増収」が「減収」を 3 割上回った。前回調査と比べると、「増収」が 9 割減少し、「減収」は 8 割増加したことで、「増収」と「減収」の割合の差が、前回調査比 17 割縮まった。

業種別で見ると、製造業では、「増収」が 33%、「減収」が 38%と「減収」が 5 割上回り、非製造業では、「増収」が 34%、「減収」が 18%と「増収」が 16 割上回っている。製造業の方が減収を見込む割合が高くなっている。

図表 1. 2019 年度上半期売上高の見込み (前年同期比)



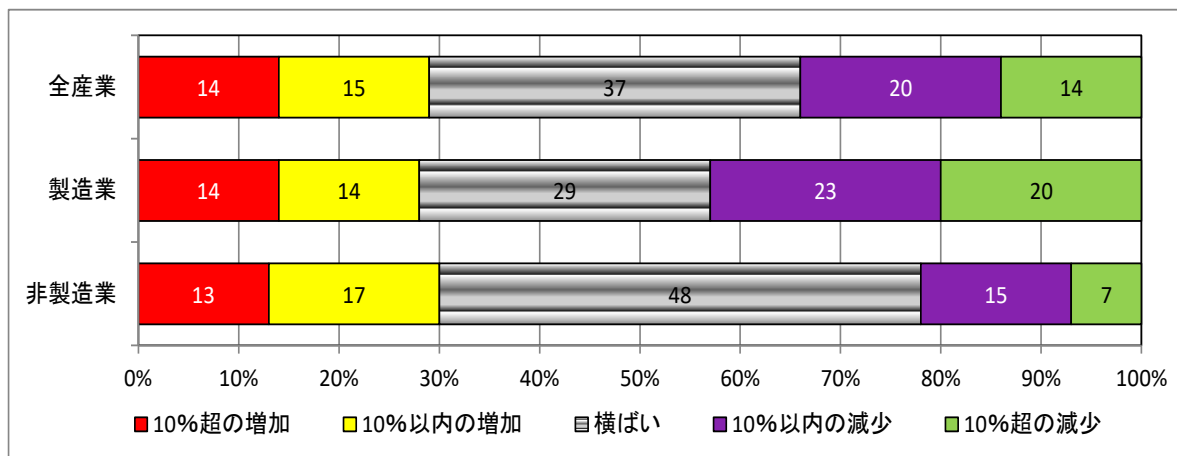
2. 2019 年度上半期経常利益の見込み (注)有効回答数 196)

2019 年度上半期経常利益の見込みについては、全産業で「10%超の増加」と大幅な増益を見込む企業は、14%であった。これに「10%以内の増加」の企業 15%を加えた「増益」とする企業の割合は 29%となった。

一方、「10%超の減少」と「10%以内の減少」を合計した「減益」とする企業は、全産業で 34%となり、「減益」が「増益」を 5 割上回った。前回調査と比べると、「増益」が 2 割減少し、「減益」は 8 割増加しており、原材料の高騰や、人件費の増加などにより、収益環境が悪化している傾向がみられる。

業種別にみると、製造業では、「増益」が 28%、「減益」が 43%と「減益」が 15 割上回り、非製造業では、「増益」が 30%、「減益」が 22%と「増益」が 8 割上回っている。製造業の方が減益を見込む割合が高くなっている。

図表 2. 2019 年度上半期経常利益の見込み (前年同期比)



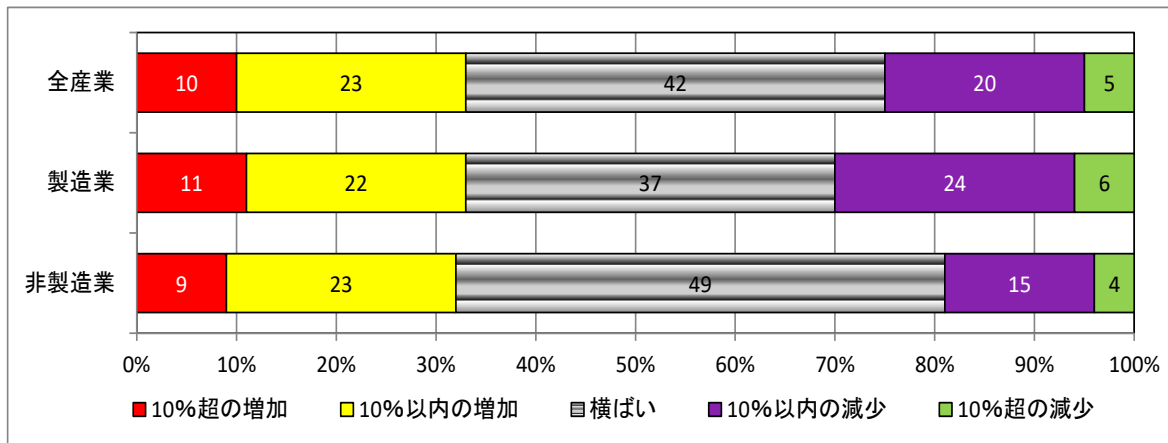
3. 2019 年度通期売上高の見込み（注）有効回答数 195）

2019 年度通期売上高については、全産業で「10%超の増加」と大幅な増収を見込む企業は、10%であった。これに「10%以内の増加」の企業 23%を加えた「増収」とする企業は 33%となった。上半期売上高を「増収」とした企業の割合と同じ数値となった。

一方、「10%超の減少」と「10%以内の減少」を合計した「減収」とする企業は、全産業で 25%となり、「増収」が「減収」を 8 ㊦上回った。前回調査と比べると、「増収」が 43%から 33%と 10 ㊦減少し、「減収」は 19%から 25%と 6 ㊦増加したことで、「増収」と「減収」の割合の差が前回調査比 16 ㊦縮まった。

業種別でみると、製造業では、「増収」が 33%、「減収」が 30%と「増収」が 3 ㊦上回り、非製造業では、「増収」が 32%、「減収」が 19%と「増収」が 13 ㊦上回っている。通期の売上高についても、上半期と同様に製造業の方が減収を見込む割合が高くなっている。

図表 3. 2019 年度通期売上高の見込み（前年同期比）



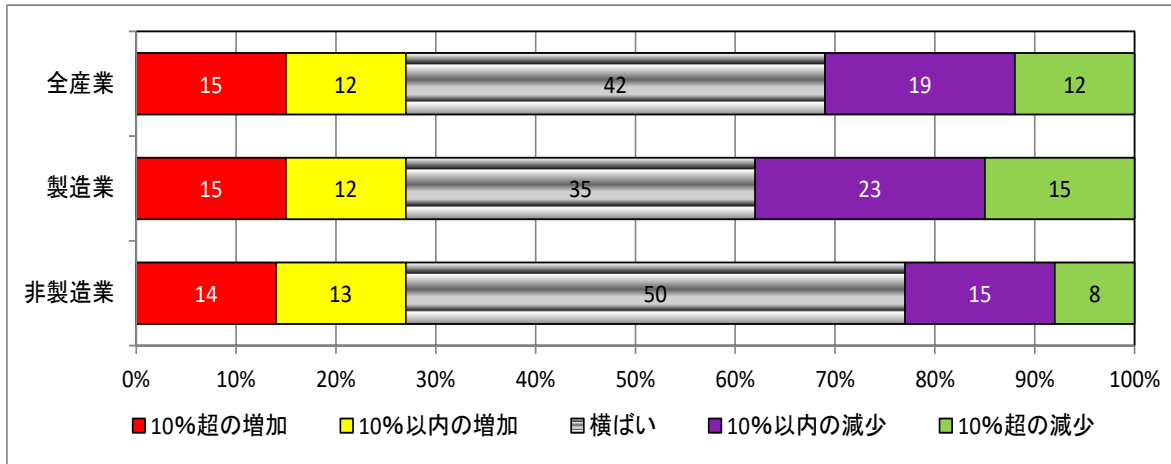
4. 2019 年度通期経常利益の見込み（注）有効回答数 195）

2019 年度通期経常利益の見込みについては、全産業で「10%超の増加」と大幅な増益を見込む企業は、15%であった。これに「10%以内の増加」の企業 12%を加えた「増益」とする企業の割合は 27%となった。「増益」は、上半期経常利益見込みと比べ 2 ㊦減となった。

一方、「10%超の減少」と「10%以内の減少」を合計した「減益」とする企業は全産業で 31%となり、「減益」が「増益」を 4 ㊦上回っている。前回調査と比べると、「増益」が 32%から 27%と 5 ㊦減少し、「減益」は 22%から 31%と 9 ㊦増加している。通期についても、上半期同様、収益環境が悪化している傾向がみられる。

業種別にみると、製造業では、「増益」が 27%、「減益」が 38%と「減益」が 11 ㊦上回り、非製造業では、「増益」が 27%、「減益」が 23%と「増益」が 8 ㊦上回っている。通期の経常利益についても、上半期と同様に製造業の方が減益を見込む割合が高くなっている。

図表4. 2019年度通期経常利益の見込み（前年同期比）



【参考】 図表5. 売上高(増収-減収)・経常利益(増益-減益)の前年度比較^(注)

(単位:ポイント)

		売上高(増収-減収)			経常利益(増益-減益)		
		2018年度(①)	2019年度(②)	前回調査比(②-①)	2018年度(①)	2019年度(②)	前回調査比(②-①)
全産業	上半期	20	3	▲ 17	5	▲ 5	▲ 10
	通期	24	8	▲ 16	10	▲ 4	▲ 14
製造業	上半期	23	▲ 5	▲ 28	8	▲ 15	▲ 23
	通期	30	3	▲ 27	13	▲ 11	▲ 24
非製造業	上半期	15	16	1	2	8	6
	通期	14	13	▲ 1	6	4	▲ 2

(注) 売上高(増収-減収) : 「増収」と回答した先の割合から「減収」と回答した先の割合を引いたもの
 経常利益(増益-減益) : 「増益」と回答した先の割合から「減益」と回答した先の割合を引いたもの